

既 成市街地でも、擁壁を見かける機会が多い。背丈を越えるほどになると、**圧迫感**もあり冷たく不快感を感じる原因となりかねない。特に狭小宅地に見られる垂直の擁壁では階段と一体につくる場合も多く、全体の工夫が必要である。素材と形態を合わせ、やわらかさを出す意匠が求められる。植物を配置するだけでも印象が変わる。

- 主な手法
- a. 形態を工夫、高さをおさえる
 - b. 素材を工夫する
 - c. 緑化する(植物を飾る装置をつける)



打ち放しコンクリートの擁壁は冷たさや圧迫感をまちなみに与える

ブロック塀が閉鎖的で魅力ないまちなみをつくっていることは、従来から指摘されている。敷地を囲うものは美観や通風、安全性など多くの観点から、素材・形態の工夫がされる必要がある。「**囲う**」という心理的效果を満たしながら、通りに対しては穏やかでやわらかい印象を与えることが大切となる。生垣や植栽との組み合わせのほか、経年変化で風合いを増す自然素材も住み手がメンテナンスを楽しめる程度に外構素材として取り入れたい。

- 主な手法
- a. 形態を工夫する
 - b. 素材を工夫する
 - c. 装飾をつける
 - d. 生垣により囲う
 - e. 緑化する(植物を飾る装置をつける)



ブロック塀は閉鎖的で魅力のないまちなみを見せ安全性(防犯・防災)にも問題がある

- a	- b	- b
<p>石積み擁壁を低く抑え、木製バルコニー下を法面として植栽、通りに緑を見せている。圧迫感を緩和するとともに季節の変化を感じさせる</p> <p style="text-align: right;">季節を感じる</p>	<p>枕木を利用した素材の意外性があり面白い。コンテナの植栽も合わせデザイン意図が感じられる</p> <p style="text-align: right;">調和した穏やかさを出す</p>	<p>自然石の擁壁と植栽、建物緑化で好感が持てる。穏やかに調和したデザインである</p> <p style="text-align: right;">調和した穏やかさを出す</p>
- c	- c	- c
<p>ツタと足元植栽で覆われた擁壁面にこれだけ豊富な植栽があると、擁壁の高低差が坂道を楽しみやすい</p> <p style="text-align: right;">圧迫感を緩和する</p>	<p>自然石の擁壁と多種類の植栽。同じ高さの擁壁でもつくり方で印象が違ふ。季節感あふれる華やかな通り</p> <p style="text-align: right;">圧迫感を緩和する</p>	<p>擁壁の足元の植栽はもちろんだが、トレリスがRCの面を和らげ、気軽なハンギングの仕掛けとなっている</p> <p style="text-align: right;">住み手の演出を促す</p>

- a	- a	- b
<p>室外機や、メーター類の印象を和らげる特徴のある塀とプランター</p> <p style="text-align: right;">隣家・通りへ配慮する</p>	<p>建物外壁に沿わせて設置した2段植栽と塀。アプローチ廻りの植栽がしやすいつくりになっている</p> <p style="text-align: right;">調和した穏やかさを出す</p>	<p>外構に白いアメリカンフェンスを用いて暗い通りを明るく演出</p> <p style="text-align: right;">通りを明るくする</p>
- b	- b	- b
<p>道路際にトレリスとゲートを取り付け、開口部を隠している。透過性があるため圧迫感も少ない</p> <p style="text-align: right;">領域・プライバシーを確保する</p>	<p>パンチングメタルの塀、門扉からこぼれる庭の緑</p> <p style="text-align: right;">隣家・通りへ配慮する</p>	<p>木と竹を取り合わせ、素材の扱いが個性的な塀</p> <p style="text-align: right;">調和した穏やかさを出す</p>